

実践事例発表レジュメ

研修・研究事業名	家庭教育と社会教育
実践事例名（テーマ）	「つながろう湯浅！」～人と人がつながる家庭教育支援～ 全戸（保護者）訪問によるアウトリーチ型支援について
事業主体（実施機関）	湯浅町・湯浅町教育委員会
連携・協力機関等	
発表者	湯浅町立湯浅小学校 校長 川口 厚之 湯浅町教育委員会スクールソーシャルワーカー／ 子育て・家庭教育支援チームリーダー 上田 さとみ

期日 平成29年8月9日

内 容

核家族化及び地域における地縁的なつながりの希薄化等により、家庭の教育力の低下が指摘されるなど、社会全体での子育て支援・家庭教育支援の必要性が高まっている。そこで、身近な地域において子育て経験者や専門家で構成する「子育て・家庭教育支援チーム」を設置し、子育てに関する情報や学習機会の提供、相談体制の充実をはじめとするきめ細かな支援を行うことにより、地域全体で家庭教育を充実させていくことを目的に湯浅町子育て・家庭教育支援チーム『とらいあんぐる』は活動しています。

1. 本事業を実施するに至った経緯と趣旨について
 - 支援が届きにくい家庭へのアウトリーチ型支援と未然防止・早期対応
 - SSWをリーダーにし福祉部局と協働した子育て・家庭教育支援チーム
2. 湯浅町子育て・家庭教育支援チーム『とらいあんぐる』の活動について
 - 支援チームの構成（スクールソーシャルワーカーと支援員）
 - 情報誌「すまいる」の作成と訪問配布
 - 訪問支援の実際（訪問支援の約束事） ※DVD視聴
 - 講座・講演によるつながりづくり
3. 家庭と地域・学校をつなぐ家庭教育支援について
 - 学校・福祉・関係機関との連携
 - 訪問型家庭教育支援チームの編成方法